



アドビシステムズ株式会社、
Adobe® Acrobat® 5.0 日本語版を発表
複数の企業や組織にまたがるビジネスプロセスの効率化を支援

Web テクノロジーの統合と、XML 対応により
Adobe PDF は Web ベースの業務プロセスのインフラに

【2001年4月11日】

アドビシステムズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：堀 昭一）は本日、Adobe Acrobat の新バージョン「Adobe Acrobat (アドビ アクロバット) 5.0 日本語版」を発表しました。アドビは、Acrobat を提供することにより、顧客やパートナーなど複数の企業や組織にまたがるビジネスプロセスのスピードアップならびに効率化を支援します。

Adobe Acrobat 5.0 日本語版は、Windows®版、Macintosh™版ともにアドビストア (<http://www.adobe.co.jp/store/>) および全国のアドビ製品取扱い会社を通じて 2001 年 4 月 27 日 (金) より販売されます。なおアドビストアでは本日より予約受付を開始します。また、企業、官公庁、教育機関などを対象としたライセンス販売については、アドビ製品取り扱い販売会社を通じて 2001 年 4 月 27 日 (金) より契約販売を開始します。また、Adobe Acrobat Reader 5.0 日本語版は、2001 年 4 月 18 日 (水) よりアドビシステムズ株式会社のウェブサイト <http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/main.html> から無償でダウンロードすることができます。

Adobe Acrobat 5.0 日本語版 (Windows 版、Macintosh 版) アドビストア提供価格

通常版： 28,310 円

旧バージョンからのアップグレード版： 9,800 円

Gartner 社副社長兼リサーチディレクターのリタ ノックス (Rita Knox) 氏は次のように述べています。「今後ビジネスワークフローが Web サイト上に移行するにつれて、いつでもどこでも情報にアクセスできることがますます重要となるでしょう。そのため、あらゆる環境からのアクセスに対応すると同時に、企業や組織が費やす時間とコストを削減するソフトウェアが必須となります。こうしたソフトウェアは、ユーザのニーズや好みに対応できる管理機能と技術力の両方を備えていなければなりません。」

Acrobat 5.0 は、Web やネットワークベースの標準テクノロジー (WebDAV : WebDistributed Authoring and Versioning、ODBC : Open Database Connectivity および Microsoft Office Server Extensions) をサポートしており、安全、確実かつスピーディなオンラインでのドキュメントワークを実現します。例えば、Web 上で共有している任意の Adobe PDF に複数のメンバーが同時にアクセスし、Web ブラウザからコメントを書き込むことによって意見交換が行えます。

また、XML (eXtensible Markup Language) 対応により、Adobe PDF の文書情報を XML メタデータとして外部アプリケーションから参照させたり、フォームデータを XML 形式に

してバックエンドシステムに送信できます。これにより、例えばAdobe PDF (アドビ ポータブルドキュメント フォーマット) で作成したフォームを、Webサーバにリンクさせて、ユーザが Web ブラウザから直接必要事項を記入できます。また、ユーザが Web ブラウザから電子署名を書き込み、PDF 形式のままバックエンドのサーバに送信することで原本性を保ったフォームデータの管理も可能です。さらに、ユーザの入力に応じて表示フィールドをダイナミックに変更したり、自動計算機能を利用して入力データの加工および確認作業を容易に行うことができます。

Acrobat 5.0は他のソフトウェアとの連携も強化されており、安定した信頼性の高いワークフローを構築することができます。 Acrobat 5.0に標準で付属している PDF Maker (Windows 版) を使用すると、Microsoft® Office アプリケーションからワンクリックで Adobe PDF ファイルを作成することができます。また、Adobe PDF ファイルから、テキストを Rich Text Format (RTF) ファイル、画像データを TIFF、JPEG、PNG 形式で書き出して、他のアプリケーションで再利用することができます。

Acrobat 5.0では、セキュリティ機能が一層強化されるとともに詳細なセキュリティ設定が可能です。RC4暗号化技術では、最高水準の128bitキーでの暗号化がサポートされており、パスワードを設定することで、第三者によるドキュメントの閲覧の諾否をより高度に管理できます。ドキュメントの印刷、コンテンツの再利用、内容変更に関しても細かく制限を加えることができます。

Acrobat 5.0は特定ターゲット向けの機能も充実しています。特にグラフィックプロ向け機能として、タイル印刷、透明度設定、オーバープリントプレビューなど詳細な印刷設定が可能であるほか、Photoshop® 6.0、Illustrator® 9.0と共通のカラーマネジメント技術Adobe Color Engineをサポートしています。ITプロフェッショナル向け機能としては、インストーラをコマンドラインベースで動作させることができ、エンタープライズ導入ツールにも対応できます。ネットワークを介して数千ものクライアントシステムへAcrobat 5.0を自動インストールしたり、アップデータをWebからダウンロードさせたりすることが可能であるため、TCOの削減を図ることができます。さらに、文字および背景色の設定、ショートカットキーの充実、MSAA(Microsoft Active Accessibility)対応など、障害をもつ人たちに対して、より利用しやすい環境を提供しています。

Adobe Acrobat 5.0 日本語版の詳細情報については

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/main.html> をご参照ください。

また、アドビ システムズ 株式会社は本日、Adobe Acrobat 5.0 日本語版の発表にともない、同製品を含むプロフェッショナル向けデザインソフトウェアの統合パッケージ Adobe Design Collection (アドビデザインコレクション) 日本語版 およびパブリッシングソリューションの統合パッケージ製品「Adobe Publishing Collection (アドビパブリッシングコレクション) 日本語版」の最新版を発表しました。両コレクション製品は、Windows版、Macintosh版ともにアドビストアおよび全国のアドビ製品取扱い会社を通じて販売される予定です。

Adobe Design Collection 日本語版の最新版は、グラフィックおよび画像の編集から、ページレイアウト、ドキュメントの配信まで、次世代のプロフェッショナルパブリッシングを実現する印刷および出版のプロフェッショナル向けのパッケージ製品です。Adobe Design Collection 日本語版の最新版には以下の製品がパッケージされています。

- Adobe Acrobat (アドビ アクロバット) 5.0 日本語版
- Adobe InDesign™ (アドビ インデザイン) 日本語版
- Adobe Photoshop (アドビ フォトショップ) 6.0 日本語版
- Adobe Illustrator (アドビ イラストレーター) 9.0 日本語版

Adobe Publishing Collection 日本語版の最新版は、グラフィック、画像編集、イラストレーション、ページレイアウト、ドキュメントのPDF化といった、ドキュメント作成から編集、配信までの一連の作業を行うパブリッシングパッケージです。Adobe Publishing Collection 日本語版の最新版には以下の製品がパッケージされています。

- Adobe Acrobat 5.0 日本語版
- Adobe PageMaker® (アドビ ページメーカー) 6.5 plus 日本語版
- Adobe Photoshop (アドビ フォトショップ) 6.0 日本語版
- Adobe Illustrator (アドビ イラストレーター) 9.0 日本語版

Adobe Publishing Collection について

Adobe Publishing Collection は、商業印刷、デザイン、オフィスワーク等向けパブリッシング製品である、画像編集ソフトウェア「Adobe Photoshop 6.0 日本語版」、グラフィック作成ツール「Adobe Illustrator 9.0 日本語版」、ページレイアウトソフトウェア「Adobe PageMaker (アドビ ページメーカー) 6.5 plus 日本語版」、さまざまなドキュメントから簡単に Adobe PDF (Portable Document Format) を作成する「Adobe Acrobat (アドビ アクロバット) 5.0 日本語版」をパッケージにした製品です。グラフィックス、画像編集、イラストレーション、ページレイアウト、ドキュメントのPDF化といった、ドキュメント作成から編集、配信までの一連の作業を行うツールを揃えることができます。

同コレクションの製品を効果的に組み合わせることで、思い描いたアイデアを高品質なドキュメントへと展開、そして配信する一連の Professional Publishing Solution (プロフェッショナルパブリッシングソリューション) を構築することができます。プロフェッショナルデザイナー、パブリッシャーが、独創的で洗練されたドキュメントを、より効率的に作成することを可能にするほか、デザインの知識をもたないビジネスユーザが、個別のコミュニケーションニーズに応じた高品質のドキュメントをタイムリーに作成することができます。さらにドキュメント作成後は、Adobe PDF 形式で保存して、ハードウェア、ソフトウェア、OS、バージョンなどの相違を超えて、CD-ROM や Web といった各種メディアを通して、情報を世界中に配信したり活用することができます。

Adobe Acrobat 5.0 日本語版 必要システム構成

Macintosh 版

- * Power Macintosh
- * Mac OS 8.6*、9.04、9.1 日本語版
- * 32MB 以上の RAM (64MB 以上推奨)

- * 標準インストールでは235MB以上の空き容量のあるハードディスク（日本語、中国語、韓国語の全てのフォントをカスタムインストールする場合には、さらに70MB必要）
- * CD-ROMドライブ
- * Mac OS 8.6ではOSの制限により一部使用できない機能があります。

Windows 版

- * Intel® Pentium®以上のプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- * Microsoft Windows 95 OSR2.0、98日本語版、Windows Me 日本語版、Windows NT 4.0日本語版*、Windows 2000日本語版
- * 32MB以上のRAM（64MB以上推奨）
- * 標準インストールでは150MB以上の空き容量のあるハードディスク（日本語、中国語、韓国語の全てのフォントをカスタムインストールする場合には、さらに70MB必要）
- * CD-ROMドライブ
- * Windows NTはサービスパック5または6aが必要

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web、印刷、ネットワークパブリッシングで定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像動画、そしてオーサリングのためのツールは、豊かな視覚効果にあふれ、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第2位で、2000年の年商は13億ドルを超えています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Webサイトwww.adobe.co.jpでご覧いただけます。

< 本件をご掲載いただく場合の読者からの問い合わせ先 >
アドビ製品一般に関する問い合わせ先
アドビカスタマーインフォメーションセンター
電話：03-5350-0407